

中山観光・季節のおはなし・旅便い

February
2月号

2月4日は立春、暦の上では春を迎えますが、
まだまだ寒い日が続く今日この頃…
お変わりございませんか？

季節の移り変わりで一日のうちでも気温差が大きいこの時期、
体調管理に気をつけてお過ごしください。





2月4日は立春です。
元旦と並ぶほど大切な日です
この日から春
運を開く習わして
しっかりと福を呼び込みましょう

立春大吉と書いた紙やお札を
玄関や門口に掲げると
災厄を除けりお守りになる



理由はこの文字の形にあるようです

すべての文字が左右対称ですよ
これは安定につながる…という縁起を担いでいるそうです。
また前日の節分で追い祓われた鬼が来ても
裏からも「立春大吉」と読める護符があれば
まだ家に入っていないと勘違いして
立ち去る…とも伝えられています。



立春と節分はふたつでひとつ

立春は季節の節目をあらわす二十四節季の最初の日
新暦では2月4日頃に訪れ「立つ春」の文字通り
暦の上ではこの日から春になります。

また八十八夜や二百十日のように季節の変わり目を教えてくれる雑節の中には立春を起点にしているものもあります。
さらに旧暦では立春の前に新年を迎えるため、1年と季節が新たにおめでたい時期でもありました。

今でも年賀状に「新春」や「迎春」といった言葉があるのはその名残なんです。

新暦で生活をしているとなかなかピンときませんが、実は元旦と並ぶほど大切な「はじまりの日」なのです。

そのため立春では運を開く習わしが受け継がれてきました。「大晦日と元旦」と同じく「節分と立春」はふたつでひとつ…
つまり表裏 ♡ 節分で鬼と災厄を祓ったあとにはしっかりと福を呼び込みましょうね



節分では恵方巻きや豆、イワシを食べますが
立春に特に特定の食べ物を食べる習慣はあまりないですね。
でも立春に食べるとよいとされている食べ物もあるんですよ



立春大吉豆腐

古くから「白い豆腐は邪気を追い払うほどの霊力が宿る」と言われ、2月3日の節分と4日の立春には豆腐を食べる風習があります。「立春大吉豆腐」とよばれ、「健康な体に幸福を呼び込む」という意味があるそうです。

朝に作られた生菓子をその日のうちに食べる

立春生菓子と言って、立春の朝に作られた生の和菓子をその日のうちに食べると縁起が良いそうです。生菓子と言っても色々ありますが、うぐいす餅や桜餅が季節感があるためよく用いられます。

そういえば、うぐいす餅と桜餅は2月に入ると和菓子屋さんに並んでますね



① 左右対称の
立春大吉です



② 門にはっておきます
鬼が家にやってきましたよ～



③ 門をくぐったはずなのに…
鬼が振り返るとさっき入る時に見た
立春大吉の紙が???



④ まだ入ってなかったのだ…と思い
鬼は逆戻りして出て行ってしまいました

なんとも心強い逸話が残る「立春大吉」は
鎌倉時代の高僧・道元禅師による書から生まれたおまじない
かつては曹洞宗の寺院に限られていた習わしですが
今は「立春大吉」の護符を授与する神社も多くあります

春の訪れを告げる立春には、縁起を担いで
1年の幸福を願いましょう



私たち日本人は、古くから季節の変化を感じながら生活をしています。

昔から農作業や狩猟が生活の中心にあり、

空の色や風の向き、雨や雷、気温差といった天気まつわることが大きな関心事だったからです。

又、山や木、海や岩などあらゆるコトやモノに神様や仏様を感じ、敬ってきました。

作物の実りも、台風や疫病などの災害もすべては人智の神仏の聖なる力がもたらすもの…

そう考えた先人たちは季節の折々にお祭りや儀式を行うようになったそうです。



節分

忍び寄る鬼と災厄を祓う立春前の一大イベント
鬼は災厄や邪気の象徴です
季節の節目となる節分にきちんと祓っておきましょう

節分にやってくる鬼を祓うためには大豆をはじめとする豆が欠かせません。「魔滅」に通じる豆を鬼が大の苦手としているからです。また鬼の目にぶつけて祓う「魔目」に由来するという説も…

節分の前日まで豆を神棚にお供えしておく、いつもの豆が神様の力を宿した「福豆」にパワーアップします。

節分の行事には、年の変わり目の行事という意味合いがあり、新年の幸せを祈願します。

旧暦の1月は新暦(太陽暦)の2月頃にあたり、春を意味していました。

立春前日の節分は、正月前日の大晦日のようなもので、年越し行事にあたります。

節分の豆まきも、もともと大晦日に行われていた疫鬼や疫神を払う儀式「追儺」に由来しています。

恵方巻の「恵方」とは、年神様の異称である歳徳神のいる方角で、

その方角に向かって事を行えば万事に吉とされ…そこで、節分に恵方を向き願い事をしながら無言で巻き寿司を丸かぶりすると願いが叶う、幸せになるといわれるようになったようです。

もともとは大正時代に大阪の花街で、節分の時期にお新香を巻いた海苔巻きを恵方に向かって食べて縁起を担いでいたらしく

その後・昭和初期～中期:大阪の海苔やすしの組合が、節分に恵方を向いて巻き寿司を丸かぶりすると

その年は幸運に恵まれるという習わしがある、という趣旨のチラシを配布して販促につとめました。

1980年代～ファミリーマート、セブンイレブンが地域限定で販売開始

1990年代にはセブンイレブンが販売エリアを拡大していき、全国展開をしたことで知名度が急速に上がり

大手スーパー、百貨店、小売店なども参入。恵方巻きを流行らせたのも「恵方巻」と名付けたのもセブンイレブンです

2000年代以降より全国のコンビニ、地方の小規模スーパーなども販促に力を入れ、全国で認知されるようになりました。

一足早い春の訪れを感じる河津桜まつり

2024年は2月1日(木)～2月29日(木)まで開催予定です

河津の川辺を鮮やかに飾る桜は、何度見ても美しいですね

1月20日現在の開花予報では 2月15日で2部咲きです

毎年、原木は川沿いの桜よりも早く咲きます。

まだ蕾が多いですが、それでも去年よりも早く咲きそうな雰囲気です

弊社主催のNKJ ツアーも 2月25日に出発します。詳しくはホームページのツアーチラシをご覧ください



房総半島は
一足早い春が…
菜の花も満開です



この時期におすすめなのが房総半島！房総半島の中でも

特に温暖な地域の南房総や館山では

1月頃から早くもたくさんの花が咲き誇ります♪

お花摘みやいちご狩り…菜の花も満開…

まだまだ寒いこの時期ですが

道沿いに菜の花がずっと咲いていて、なかなかの景色です。

温暖な気候で知られる千葉県南房総市の景勝地で、早咲きの寒季節の花が楽しめる南房総市和田町の景勝地「抱湖園」ではこの時期、「元朝桜」と呼ばれる早咲きの寒桜が咲き始めています。

ことしは例年より1週間ほど早く、1月中旬から咲き始めたということで、およそ50本の木はすでに8分咲きになっています(1月27日現在)

「元朝桜」は、旧暦の元日の頃に花が咲くことから、「元日の朝に咲く桜」という意味の名前がつけられたということです。

訪れた人は、桜並木の下をゆっくりと散策しながら写真を撮ったり、椅子に腰かけて桜を見上げたりして一足早い春を楽しんでいました。



元日に発生した能登半島地震から、まもなく1カ月となります。
 寒い日が続きます。今年になって、毎日北陸にお住いの皆様の生活に思いを馳せております。
 あらためまして、令和6年1月1日に発生した能登半島地震とその関連の事故によって犠牲になられた全ての方々にお悔やみ申し上げます。
 また、被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、被災者の皆様のご健康と安全、一日も早い復興をお祈りしています。



最大震度7を観測した地震の影響で、死者は200人を超え、今も1万5000人余りが避難生活を余儀なくされています。
 道路や水道といった生活インフラの復旧に3カ月以上かかる地域もあると見られ、石川県は避難所からホテル・旅館への2次避難を呼びかけている状況です。住み慣れた地域を離れることに強い不安の声もあると見られています。
 私たちができることは、まず、被災地の方々の情報を正しく知り、想いを寄せることだと思います。



能登半島は、豊かな自然に恵まれた歴史ある魅力満載の観光地です。キーワードは「絶景」「文化」「祭り」「食」「温泉」です。歴史や素晴らしい風景にふれながら何度も訪れたところ…
 またいつの日か能登に行きたい…そう思い、願っている人が大勢いることでしょう



「能登はやさしや土までも…」能登地方はこう言われています。

「土」は地面の土のことでもありますが、人間の根幹との意味。
 裏も表も優しいということです。

つまり、他人への気遣いができて、人情味豊かな人が多いのが能登地方
 能登の冬はさらに厳しい。隣の家に行くのさえも大変な日もあるし、
 風雪で村が陸の孤島になってしまうのも珍しくはない。だから、厳しい自然の中で生きるためには、
 他人を気遣い、また、他人と手を取り合っていないければ冬将軍には太刀打ちはできないのです。
 「能登はやさしや土までも」。日本中がそうあって欲しいとつくづく思う。

輪島と言えば、漆器と朝市が知られ、100件以上の出店で賑わっています
 また奥能登輪島にはまだまだ隠れた名所があります。
 本当の「輪島」を見られるのは、輪島港から沖合い50Kmにある
 触倉島です。港から定期船で約2時間の距離。朝10時に出発し、午後3時に
 本土に帰る便だけ。
 世界有数の「渡り鳥の交差点」と言われるほど、小鳥が多い島です。
 渡る時は天気を見て乗船するのがおすすめ
 日本遺産になっている奥能登の祭りもおすすめです。
 代表的なのは、担ぎ山車のキリコ祭り。近くの町に「あばれ祭り・曳山祭」が
 ありますが、欠かせないのが名舟町の勇壮な御神乗太鼓で、
 石川県の無形文化財です。顔にはこわいお面をかぶり、
 腰にはロープをからめ大きな太鼓回りを乱れまわり、乱舞します。
 能登地方にはひとつひとつの見どころが
 土と人の暮らしの様子が伝わるような気がします



北陸応援割・3月開始予定！

能登半島地震が発生した1月、北陸の石川県など4県の宿泊施設のキャンセルは約17万件にのぼっています。

そんな中、発表された「北陸応援割」。1人1泊あたり2万円を上限に、観光客の宿泊料金の半額が補助される予定です。

歓迎の声があがる一方で、SNSでは「被災者へ直接支援を」といった批判も…**少しずつ北陸の観光も復活していきますように**

今年も雪山のシーズンが始まっています

スキー場にいる乗務員さんたちから写真が届きました



1月18日 青空に虹が…バスと虹のコラボ



1月17日 岩原スキー場



1月14日 志賀高原は49~50cmの積雪



晴れた日はこんな景色も見られます



スキー場は風が冷たくて寒いけど



乗務員さんたちはとても元気に
仕事をしています



毎年お世話になっている岳温泉
眺めの館・光雲閣



毎年冬のシーズンになると連日スキー場にいます。福島方面や新潟方面、また信州志賀高原は毎日運行
たまにガイドさん付きのスキーのお仕事も…天候は青空に虹がかかっていたり、猛吹雪の日もあり、
乗務員は雪情報を調べながらチェーン装着の判断・見極め・雪道での適切なスピード・アクセル・ブレーキワーク等
雪道においても安全運行できることが、バス事業者の責務です